

令和5年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立草加西高等学校)

目指す学校像	人に優しく、自分に厳しく、社会に貢献できる人間を育てる学校 ～自らの力で夢を実現できる力を養う～
--------	---

重点目標	1 主体的に学ぶ意欲と探究心を育む授業の充実
	2 社会に通ずる規範意識の育成と、学校行事や生徒会活動・部活動の充実
	3 個々の希望を叶え、生徒の人生を豊かにするきめ細かなキャリア教育の実現
	4 地域連携の強化と積極的な情報発信による開かれた学校づくりの推進

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価 シ ス テ ム シ ー ト				学 校 関 係 者 評 価			
年月	現状と課題	評価項目	具体的方策	年度評価(月日現在)			
				評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の授業への取組は良くなっているが、主体的に学ぶという姿勢が弱い。 新学習指導要領への対応と、生徒用タブレット端末の有効活用について、更なる研究が必要である。 図書館利用が増えている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンランクアップを目指した学力を定着させるために、家庭学習の時間を増やし、自学を定着させること。 教員の授業へのICT活用スキルの向上を図ること。 生徒の学ぶ意欲と探究心を刺激し、主体的に学習に取り組む姿勢を育成すること。 図書館利用を引き続き増やし、読書を習慣化すること。 3年間を見通して、計画的に資格取得ができるよう、学校全体で情報を共有して組織的に取り組むこと。 	<p>自らの探究心を育て、自己の成長のために目標を掲げ、意欲的に自学できる生徒を育成する</p>	<p>①手帳を活用し、自己マネジメント能力を高めさせるとともに、計画を立て記録を保存し振り返る習慣を身に付けさせることで、家庭学習の時間を増加させる。</p> <p>②授業公開月間を設定し、教職員の学び合いを進めるとともに、ICTの活用スキル向上のための研修会を行う。</p> <p>③withコロナの状況下でのアクティブラーニングについての工夫を進め、進路実現に向けた「学びの主体性」の育成を継続する。</p> <p>④図書館利用を積極的に授業で取り入れ、利用を推進しながら生徒の読書習慣を支援する。</p> <p>⑤資格試験の情報をまとめ生徒に周知するとともに、3年間を見通した計画を生徒に考えさせる。</p> <p>⑥検定試験の学習の支援を組織的にを行い、合格に向けた補習等を充実し、資格取得を推進する。</p>	<p>①定期考査前を中心に家庭学習の時間が増加するように全職員で指導し、家庭学習の定着を図り、授業改善アンケートで検証する。</p> <p>②教員相互に授業を公開し、教員間の学び合いを強化する。</p> <p>③ICTを活用した授業実施に向けた教員研修会を実施する。</p> <p>④各教科で連携を図り、図書館を活用する授業を行う。</p> <p>⑤資格取得を計画的に進めるため、西高ブレイクスルーに検定試験の情報を掲載し、3年間見通した資格試験の取得に向けて生徒を支援する。</p> <p>⑥資格試験の受験者数及び合格者数を増加させる。特に、2級合格者を増やす。</p>			
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> きめ細かな生徒指導の実施により、生徒は前向きに学習に臨み、安定した学校生活を送れている。 規範意識を持って意欲的に学校生活を送る生徒が増えている。 人間関係の悩みを抱えている生徒が複数おり、心の支援を必要としている生徒がいる。 近隣住民から自転車マナーに対する意見が多く、登下校中の接触事故がある。 生徒会が中心となって学校行事を運営出来ている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員と生徒との信頼関係を強化し、一人一人が規律ある態度を実践し、将来に向けた自主自立と必要な規範意識をより一層向上させること。 引き続き全職員の共通理解を得ながら生徒の安心安全を確保し、充実した学校生活ができるようにすること。 自己肯定感がある生徒を育てるため、活躍できる場を多く設定すること。 生徒が様々なところで自らの意思で決断し、行動できるようになること。 心の支援を必要としている生徒に対して組織的に行うために連携体制を強固にすること。 登下校時の安全を確保すること。 SNSの望ましい扱い方についての指導を工夫すること。 	<p>自らの意志で行動を律する力を持ち、規範意識の向上に努める生徒を育成する</p>	<p>①教職員間、保護者との連携を密にし、遅刻指導や身だしなみ指導等を実践することで基本的生活習慣が生徒自らの力で身に付くように指導する。</p> <p>②スクールカウンセラーによる教育相談を定期的の実施する。</p> <p>③校内教育相談体制を充実し、草加分校と連携した体制を実現する。</p> <p>④二者面談の実施。(年2回以上)</p> <p>⑤生徒の規範意識を醸成し、交通ルールやマナーを守るとともに、時間に余裕を持った通学に向けて5分前登校を推進し交通事故ゼロを目指す。</p> <p>⑥SNSの望ましい扱い方について学び、生徒がトラブルに巻き込まれないようにする。</p>	<p>①欠席率、遅刻率の減少を目指す。</p> <p>②皆勤者の増加を目指す。</p> <p>③生徒が充実した学校生活を送れるようにスクールカウンセラーと連携を深めながら支援する。</p> <p>④草加分校と協力した教育相談対応やケース会議等を実施し、情報共有の機会を設定する。</p> <p>⑤生徒との二者面談を4月、9月に実施する。</p> <p>⑥交通ルールを守り登下校時の交通事故を無くす。</p> <p>⑦SNSについて講演会等を通じて学び、望ましい扱い方を身につける。必要に応じて生徒会主体で呼びかけを行う。</p> <p>⑧授業におけるICT・BYODの活用も踏まえた、タブレット等の利用のルール整備を進める。</p>			
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科や各分掌との連携により、生徒の進路実現の達成率は90%を超えている。 情報提示の方法や小論文指導の改善等により、昨年は上位校への受験数・合格数も増加した。 探究学習やICTを用いた学習支援、手帳指導も有機的に繋がり機能している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンランクアップの進路を目指してチャレンジする意欲を向上させること。 多様な生徒の進路への対応を組織的に行うこと。 本校進路指導の根幹である職業観の育成と就職希望、看護医療系希望への指導を継続すること。 一般、公募、AOでワンランク上の進学先を目指す指導を保護者への情報提供とともに確立すること。 公務員を目指す生徒への支援を早期から計画的、組織的に進め、二次試験合格者を増やすこと。 保護者へ進路に関する情報発信を行うこと。 	<p>希望する進路に向けて意識を高め、ワンランクアップの進路実現に向けて、早い段階からチャレンジする意欲を持つ生徒を育成する。</p>	<p>①3年間を見通した進路指導計画について共通理解を図り、進路指導部を中心に学年と連携して行う。</p> <p>②ワンランクアップの進路実現に向けて、早い段階からチャレンジする意欲を持たせる。</p> <p>③希望する上級学校への総合型・公募型入試(選抜)や一般入試(選抜)に対応する支援を行う。</p> <p>④一般選抜だけでなく、推薦で大学進学を希望する生徒に対しても、組織的に進学のための補習を計画する。</p> <p>⑤外部の学習コンテンツの活用を推進する。</p> <p>⑥長期休業中や放課後を活用して、公務員希望者対象の講座、就職者対象の補習等を計画的に実施する。</p> <p>⑦教員向けの進路指導研修を実施する。</p> <p>⑧新高大接続に対応した指導を計画的に実践する。</p> <p>⑨保護者会や個別面談等を通して、進路に関する情報を的確に提供し、質の高い進路指導を継続する。</p>	<p>①集会、総合的探究の時間等を活用して進路講演等を継続的に実施する。</p> <p>②生徒が希望する進路の決定100%を目指す。</p> <p>③全学年で手帳指導を行う。</p> <p>④個別面談や小論文等の指導を組織的に行う。</p> <p>⑤各種進路補習の設定講座数。</p> <p>⑥外部の学習等コンテンツのアクセス状況。</p> <p>⑦公務員希望者対象の講座を計画的に実施し、早期の段階からチャレンジするよう支援する。</p> <p>⑧教員向け進路研修・情報提供の実施回数。</p> <p>⑨大学等が実施する進路説明会へ教員を派遣し、常に新しい情報を把握、共有して生徒面談等で還元する。</p> <p>⑩ホームページ等で進路行事や進路情報を定期的に更新し、保護者へ提供をする。</p> <p>⑪各学年から進路だよりを年6回以上発行する。</p>			
4	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報発信と施設開放、地域ボランティア等を行っている。 近隣中学校と良好な関係を築いている。 コロナ禍で中断した獨協大学との連携を再開している。 コロナ禍以降学校行事や授業公開への保護者の参加が減少している。 草加かがやき特別支援学校草加分校との交流は良好である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の小・中学校との交流を継続して実施するとともに定着化させること。 PTA活動への保護者理解と参加者を拡大すること。 地域住民の方々が来校する機会が限られている。 獨協大学との取組を検証し、進展させること。 分校との相互理解を推進するため学校行事を中心とした交流を行うこと。 職員の交流(合同研修会)に取り組むこと。 	<p>様々な人との交流を通して人権感覚を育成し、コミュニケーションを図りながら地域活動等に参加できる活動的な生徒を育成する。</p>	<p>①生徒自身が地域で活躍することを通して、地域住民や小・中学校等に本校の良さを発信し、地域に根差した信頼されるの高校として魅力を発信し、学校説明会に参加する人数を増やす。</p> <p>①ホームページを効果的に活用し、生徒の活動を積極的に掲載する。</p> <p>①獨協大学との取組を年1回行い、検証する。</p> <p>②PTA・後援会理事会を中心として、保護者間の連絡や連携を強化するとともに、各種行事等に職員と一緒に参加する。</p> <p>③草加分校と連携し、日々の連絡を共有する体制を構築する。また、各種行事を生徒だけでなく保護者、職員が一層に行い一体感を味わう。</p> <p>④草加分校の職員と合同研修会を行い、職員間の交流を推進する。</p>	<p>①学校説明会への参加者720組(定員240名×3)を目指す。</p> <p>①地域ボランティア活動や地域のイベント等への参加部活と生徒数を増加させる。</p> <p>①ホームページを全職員で積極的に更新する。</p> <p>①獨協大学との取組を年1回行い、交流を深める。</p> <p>②保護者の授業公開やPTA活動、各種行事等への参加数を増加させ、学校への関心を高める。</p> <p>③合同での行事を実施する。</p> <p>③日常での相互交流を図る。</p> <p>③合同研修会(年1回以上)を実施し、職員間の交流を図る。</p>			

実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	